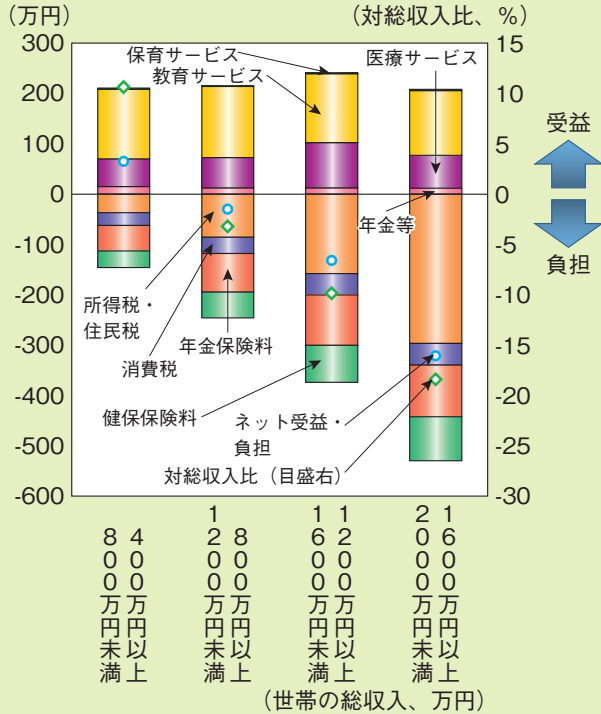


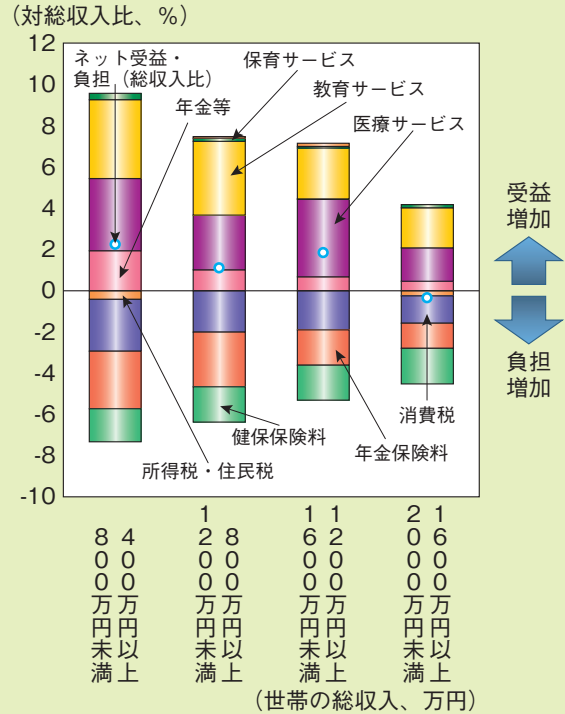
過去約20年間の変化をみると、中低所得者では社会保険料や消費税の負担率上昇幅が大きい、医療・教育サービス等の受益率も上昇

(3) 共働き・子供2人世帯における収入階層別に見た受益・負担構造

①現在（2015年）

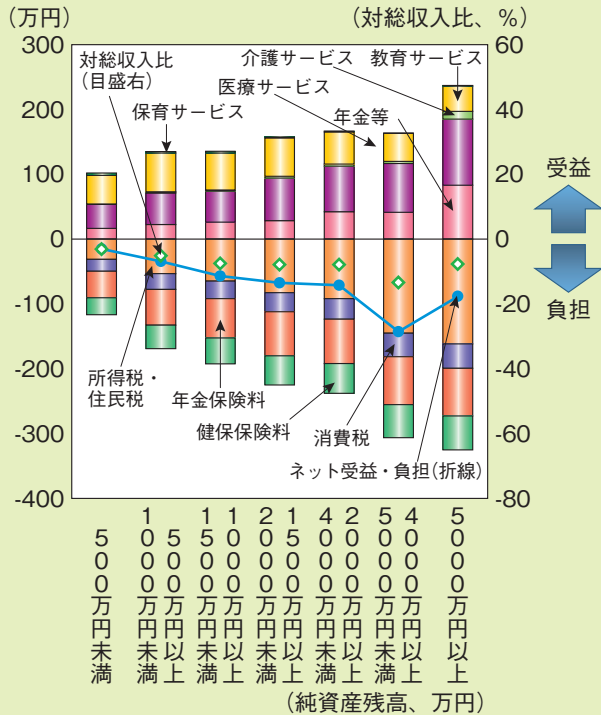


②過去約20年（1994年→2015年）の変化

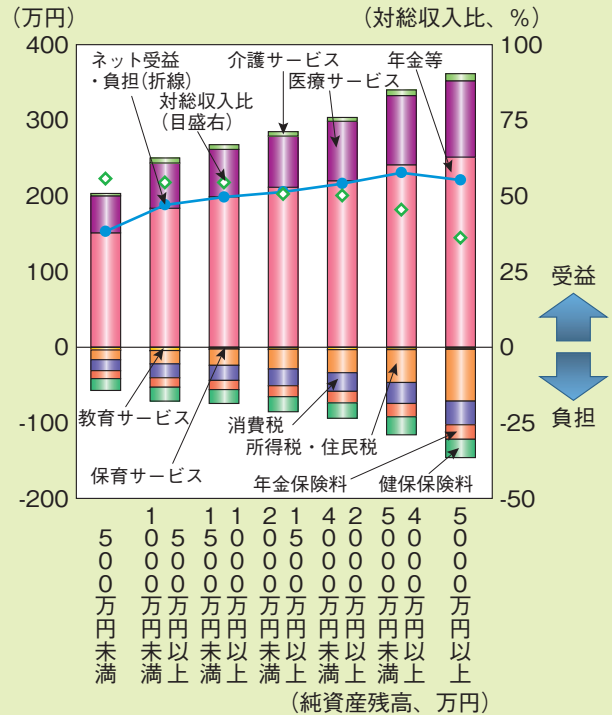


(4) 金融資産保有状況と受益・負担構造

③現役世代（20～59歳）



④高齢者（60歳～）



(備考) 1. 総務省「全国消費実態調査」により作成。
2. 計算方法は、付注1-5を参照。